

# 平成 19 年度 事業 報告

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

## I. 事業 の 概 況

当財団は、昭和 42 年 8 月設立以来、わが国の健康上の課題である「生活習慣病」に関する事業を一貫して展開している。

平成 19 年度も三本の柱である「医学研究助成」「生活習慣病集団検診」「小冊子刊行・頒布」事業の更なる効率化と予算の有効活用に注力して事業活動を行った。

### 1. 医学研究助成事業

医学者を対象とする医学研究助成事業は第 40 回を迎え、58 件の推薦応募の中から 24 研究に対して助成を行った。第 16 回特別助成の 3 研究と併せて、総額 2,850 万円の助成金を贈呈した。

### 2. 検 診 事 業

検診事業は、7 項目(胃部、胸部、循環器、血液、便、眼底、VDT)の集団検診を実施。検診先・受診者減があり、年間延受診者数は 44,928 名で 3,545 名減の 92.7%となった。検診業務開始以来の累計延受診者は、1,656,056 名となった。

### 3. 小冊子刊行事業

生活習慣病ガイドは、改訂版 2 種類、増刷 12 種類を刊行した。

年間頒布数は 28,894 冊であり、昭和 43 年 7 月刊行以来の累計頒布数は約 421 万冊となった。

平成 19 年度の各事業の実施状況は、次頁以下のとおりである。

# 1. 医学研究助成

## (1) 第40回「医学研究助成」

58件の推薦応募があり、選考委員会を経て24研究を決定、平成19年9月13日に贈呈式を行い(霞が関東京會館)、1研究につき100万円、総額2,400万円の助成金を贈呈した。その内容は、後記の医学研究助成【別表】のとおりである。

## (2) 第16回「医学研究特別助成」

第38回研究助成(平成17年度)入選者の研究報告20件を対象とし、選考委員会を経て3研究を決定、第40回医学研究助成と同日の贈呈式で、1研究につき150万円、総額450万円の助成金を贈呈した。その内容は、後記の医学研究特別助成【別表】のとおりである。

### ※第1回からの助成金累計

	19年度		累 計	
	件 数	助成金額	件 数	助成金額
医学研究助成	24件	2,400万円	759件	9億1,800万円
特 別 助 成	3件	450万円	63件	6,750万円
合 計	27件	2,850万円	822件	9億8,550万円

## (3) 第38回「医学研究助成」研究報告の発表

第38回研究助成入選者の研究報告を、当事業団発行の「医学研究助成研究報告集」に掲載し発表した。

## (4) 第41回「医学研究助成」(平成20年度実施)

平成20年1月、推薦依頼機関(大学・研究機関120)に募集要項・申込書類を送付し推薦を依頼した。また、毎日新聞に募集要項を掲載した。

第41回研究課題は次のとおり決定している。

- ①インスリン抵抗性改善の介入研究
- ②急性心筋梗塞のリハビリテーション
- ③C型肝炎—最近の治療の進歩
- ④マイクロ手技による再建手術の新たな展開

※応募締め切りは平成20年5月10日。

## 2. 介護分野の「調査研究業務」受託

介護分野のノウハウを生かした「調査研究業務」を社団法人シルバーサービス振興会より受託した。

- ・平成 19 年度テーマ：障害者・高齢者等への在宅ケアサービスにおける新たな食事提供のあり方に関する調査研究事業
- ・当 事 業 団 担 当：障害者・高齢者等に対する配食(食事の宅配)サービスについてのアンケート調査(事業者とその利用者の 2 種)の集計・グラフ作成等
- ・「報告書」提出：平成 20 年 3 月 21 日

## 第40回「医学研究助成」24研究 総額2,400万円／1研究100万円

- 研究課題 1. 臓器線維化  
 2. 小児肥満対策  
 3. 乳癌の治療  
 4. 肝細胞癌の治療法の比較  
 5. 内視鏡下手術(切除・鏡視下手術を含む)の評価

(課題別申込受付順)

研究者	研究主題
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 佐藤伸一 他2名	全身性強皮症モデルマウスにおける、BAFFをターゲットとした治療の有効性の解析
自治医科大学 講師 大西洋英 他2名	肺線維化をモデルとした臓器線維化治療法の開発: オートクリンTGF- $\beta$ /Smadシグナルをターゲットとした研究
東海大学医学部 准教授 稲垣 豊 他1名	骨髄由来細胞のマトリックス合成と分解の包括的解析に基づく臓器線維症の治療戦略
埼玉医科大学 准教授 岡田浩一 他2名	CCN2分子内モジュール構造の増殖因子結合能と腎線維化への関与の検討
京都大学大学院医学研究科 特別研究員 櫻井俊治	肝線維化におけるMitogen-activated protein kinaseの役割の解明と新規治療の開発
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 講師 八木下尚子 他1名	関節リウマチ原因分子シノビオリンの臓器線維化に対する応用
山梨大学大学院医学工学総合研究部 教授 中尾篤人	アレルギー性鼻炎における上気道リモデリング(線維化)のメカニズムについての解析
和歌山県立医科大学 教授 雑賀司珠也 他2名	組織線維化における上皮-間葉系移行と線維芽細胞-筋線維芽細胞変換でのSmadリンカー領域リン酸化の役割の研究
川崎医科大学 講師 佐藤 稔 他2名	加齢による腎臓の間質線維化機序の解明
福井大学医学部 教授 横田義史 他1名	モデルマウスを用いた肝線維化誘発過程における転写調節因子Id2の関与
東京大学医学部附属病院 医員 三原 誠 他4名	治療前卵巣機能不全症(早発閉経・不妊症)予防のための、超微小血管技術を応用した血管付卵巣臓器移植・低温臓器保存方法の開発

研究者	研究主題
三重大学生命科学研究支援センター 助教 市原佐保子 他2名	心筋リモデリングにおける心筋線維化の分子機序 —転写因子の役割の解明—
帝京大学医学部 講師 中村明夫 他3名	副腎ステロイド薬による肥満の治療対策：肥満関 連遺伝子多型情報に基づく食事指導と薬物治療
慶應義塾大学医学部 准教授 長谷川奉延 他1名	小児肥満の診断基準確立および環境的危険因子 の特定
大阪医科大学 助教 瀧谷公隆 他5名	小児肥満における非アルコール性脂肪肝炎の酸 化ストレス評価法に関する研究
北里大学医学部 教授 石井正浩 他3名	小児期肥満が動脈硬化病変への進行に与える影 響：動脈硬化病変への進行の定量的評価と効果 的治療法の開発
国立病院機構鹿児島医療センター 部長 吉永正夫 他3名	小児期肥満治療の介入方法と医療経済効果に関 する研究
宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 教授 伊達 紫 他2名	内臓脂肪における新規肥満制御因子の同定と小 児肥満の病因解明に向けた研究
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 准教授 山岡昇司	乳癌細胞における恒常的NF- $\kappa$ B活性化メカニズ ムの解明とその抑制による治療法開発
国立がんセンター中央病院 医長 加賀美芳和 他6名	乳癌温存療法における部分乳房加速放射線治療 の検討
筑波大学大学院人間総合科学研究科 講師 小野寺雅史	乳癌に対する癌ワクチンとしての遺伝子改変HER2 発現樹状細胞の臨床応用化
広島大学自然科学研究支援開発センター 教授 檜山英三 他6名	日本小児肝がんスタディグループにおける小児肝 細胞癌に対する新たな治療戦略のための基盤整 備
名古屋大学大学院医学系研究科 講師 丹羽康正 他4名	内視鏡的粘膜切除術術後食道狭窄の予防に対す る注入型薬剤溶出キャリアを用いた再生医療的治 療法の開発
大阪市立大学大学院医学研究科 講師 寺井秀富 他2名	脊椎内視鏡下手術の侵襲度についての検証—脊 椎内視鏡下手術は真に低侵襲といえるか—

**第16回「医学研究特別助成」3研究 総額450万円／1研究150万円**  
 (第38回「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題
1. 不整脈
  2. 脳塞栓症
  3. 睡眠障害
  4. 胃癌治療の新たな展開
  5. 生活習慣病における画像の新たな臨床応用

研究者	研究主題
東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授 古川哲史 他3名	不整脈の性差医療 (gender-specific medicine)
名古屋市立大学大学院医学研究科 教授 澤本和延 他2名	マウス・サル脳塞栓症モデルを用いた内在性神経 幹細胞によるニューロン再生機構の分子細胞生物 学的解析
筑波大学大学院人間総合科学研究科 准教授 桜井 武	レプチンおよびGABAによるオレキシン産生神経の 制御機構とその生理的意義

### 3. 生活習慣病集団検診

団体先の人員減により受診者数が減少し、本年度の延検診受診人員は、全検査項目(7項目)合計で、44,928名、前年度に比べ3,545名の減少となった。

(対前年 92.7%)

各項目別の内訳は次のとおりである。

#### <検査項目別受診人員>

(単位：名)

項目	19年度	18年度	増減
胃 部	7,317	7,744	△ 427
胸 部	9,683	10,551	△ 868
循 環 器	9,250	9,899	△ 649
血 液	9,791	10,636	△ 845
検 便	4,708	5,246	△ 538
眼 底	3,126	3,354	△ 228
V D T	1,053	1,043	10
合 計	44,928	48,473	△3,545

(注) △は減を示す。

職域団体と地域団体の受診者割合は、職域 59%・地域 41%と職域の割合が高い。

検診業務開始以来の延受診人員は、1,656,056名となった。

#### (1) 検査項目別要精検率

項目	受診者数	要精検者数	要精検率
胃 部	7,301名	875名	12.0%
胸 部	9,552	119	1.2
循 環 器	血 圧	1,124	11.6
	尿	923	9.3
	心 電 図	48	0.5
血 液	9,653	3,007	31.2
検 便	4,666	321	6.9
眼 底	3,127	702	22.4

(注) 平成 19 年 1 月～平成 19 年 12 月の受診者 11,234 名を対象とする。

## (2) 胃部要精検者の追跡調査結果

胃部要精検者について、追跡調査を行った結果は次のとおりである。

(平成20年3月末日現在)

### ①精検受診および回答状況

要 精 検 者 数	875 名
精検受診回答者数	601 名
精検未回答者数	274 名

### ②精検結果の内訳

胃 が ん	9 名(0.12%)
胃 腺 腫	3 名(0.04%)
胃 ポ リ ー プ	93 名(1.27%)
胃 潰 瘍	88 名(1.21%)
胃 炎	319 名(4.37%)
異 常 な し	89 名(1.22%)
合 計	601 名(8.23%)

(注) 1. 胃潰瘍には潰瘍癒痕を含む。

2. ( ) 内は受診者総数(7,301名)に対する占率。

## (3) 大腸要精検者の追跡調査結果

大腸要精検者について、追跡調査を行った結果は次のとおりである。

(平成20年3月末日現在)

### ①精検受診および回答状況

要 精 検 者 数	321 名
精検受診回答者数	195 名
精検未回答者数	126 名

### ②精検結果の内訳

大 腸 が ん	4 名(0.09%)
直 腸 炎	2 名(0.04%)
腺腫性ポリープ	69 名(1.48%)
非腺腫性ポリープ	9 名(0.19%)
そ の 他	57 名(1.22%)
異 常 な し	54 名(1.16%)
合 計	195 名(4.18%)

(注) 1. その他は良性腫瘍、大腸憩室、痔疾患など。

2. ( ) 内は受診者総数(4,666名)に対する占率。



#### 4. 生活習慣病ガイドの発行、頒布

平成19年度は改訂版2種(3,000冊)、増刷12種(15,200冊)を刊行した。  
毎日新聞(4月・2月)・三井生命広報誌(5月・12月)にガイド案内を掲載した。  
平成19年度の頒布数は28,894冊となった。

##### (1) 改訂版 (2種 : 3,000冊)

No. 4	胃がん	1,500冊
No. 62	腹痛	1,500冊

##### (2) 増刷 (12種 : 15,200冊)

No. 2	肺がん	1,000冊
No. 3	高血圧	1,000冊
No. 9	脳卒中	1,000冊
No. 11	肝炎	1,200冊
No. 15	脳卒中のリハビリテーション	1,500冊
No. 26	更年期障害	1,200冊
No. 28	食道がん	1,300冊
No. 38	心不全	1,500冊
No. 45	狭心症	1,000冊
No. 61	五十肩と頸肩腕症候群	1,300冊
No. 63	アレルギー性鼻炎	1,700冊
No. 68	かぜとインフルエンザ	1,500冊

##### (3) 頒布数

頒布先	19年度	18年度
三井生命	25,996冊	21,799冊
一般	2,335冊	1,856冊
無償	563冊	264冊
合計	28,894冊	23,919冊

・昭和43年7月に第1号を創刊してからの累計頒布数は約421万冊となった。

## Ⅱ. 理事会、評議員会に関する事項

### 第151回理事会 平成19年5月21日（月）開催

- (1) 平成18年度事業報告、決算報告（収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録）認定の件  
原案どおり認定された。
- (2) 評議員推薦の件  
石井當男氏・岡田明重氏・北村正任氏・幸田正孝氏・庭田範秋氏・福内靖男氏・三宅明氏  
和田達雄氏の8氏が引き続き推薦された。

### 第42回評議員会 平成19年5月21日（月）開催

- (1) 平成18年度事業報告、決算報告の件
- (2) 平成19年度事業計画、収支予算報告の件  
(1)(2)とも全員の諒承を得た。
- (3) 理事および監事選任の件  
理事には、岡野健一氏・高畠豊氏・赫彰郎氏・成瀬行弘氏・西村博氏・長谷川慧重氏  
萬年徹氏の7氏が再任された。監事には、五十嵐公靖氏・山本幸央氏の両名が再任された。

### 第152回理事会 平成19年5月21日（月）開催

- (1) 理事長互選の件  
理事長には成瀬行弘氏が選任された。

### 第153回理事会 平成19年11月19日（月）開催

- (1) 平成19年度上半期事業報告の件
  - ①平成19年度上半期の事業概況および収支計算
  - ②平成19年度下半期の事業および収支計算見込み全員の諒承を得た。
- (2) 第41回「医学研究助成」事業計画決定の件  
原案どおり決定された。

### 第154回理事会 平成20年3月24日（月）開催

- (1) 平成19年度事業概況および収支計算見込み報告の件
- (2) 平成20年度事業計画および収支予算案決定の件
  - (1)については全員の諒承を得た。
  - (2)については原案どおり決定された。

## Ⅲ. 理事、監事、評議員の異動に関する事項

新たな就任、および退任、辞任等はなし。